

読んでください 聞いてください 須田 稔の想い

生きてるって 人間であるって 奇蹟ですね
形も色も味も 様々在ると感じるができる
言葉覚えて 聞き読み 笑い 泣くこともできる
痛がったり 苦しんでる人を見ると 胸が詰まる
楽しくて明るく笑う人を見ると 胸が熱くなる
大事な人を亡くしてつらい思いでいる人を見ると
誰もが避けられない定めだけれど 胸が裂ける
理不尽なことには怒りを覚え 抗議を表明できる

あの15年に及ぶアジア太平洋戦争。

僕が生まれてから中学2年生までがこの戦争の時代。
日本の軍隊は「皇軍」と呼ばれていました。

天皇陛下を「お守りし、忠義を尽くすべき」軍隊。

二〇歳になった六歳上の兄が召集令状を受けて、

『祝出征 須田久重君』『祈 武運長久』の二本の幟、
日の丸の紙の小旗を手に『国防婦人会』の襷掛の女性、

「勝つて来るぞと勇ましく 誓つて国を出たからに
や 手柄立てずに死なれよか 進軍ラップ聞く度に
まぶたに浮かぶ旗の波・・・」。「露宮の歌」を大声で。

「手柄」？「敵をやっつけること」。良心の呵責なし。
「敵兵を殺す 敵の領土を奪う 建物を壊す」こと。

戦場へ行く目的は殺人・強盗・放火・略奪・破壊。
天皇陛下のため 大日本帝国のため それは祝い事、

誇るべきこと 名誉 死しては英霊と崇められ
靖国神社にカミとして祀られる、 僕も兄につづこう。

天皇陛下はアラヒトガミ 人間の姿をしたカミサマ。
戦場で死ぬことが最も崇高で美しい生き方と

教育された僕は嗚咽する母を「非国民！」と睨み付け
僕は人間の姿をした無知蒙昧の傀儡に育っていた。

アジア人二〇〇万人 日本人三一〇万人が殺され
戦死した皇軍兵士のうち何十万人もは餓死だった。

加害者であり同時に被害者 日本人皆がそうだった。
戦争を計画し 発動し 指揮した大臣と将軍と

武器商人 軍需産業経営者 彼らだけが戦争犯罪人で
戦火の恐怖も知らず 戦禍の悲惨に号泣しませず。

2001年10月7日、アフガニスタンを、
2003年3月20日、イラクを空爆始めたアメリカ。

この二つの戦争の帰還米兵200万人以上
このうち60万人がPTSD

〈心的外傷後ストレス障害〉を患い

年間8000人も自殺しているというのです。

戦場で生命を奪われる恐怖と不安
生命を奪ったことの罪責感と苦悶。

自衛隊員が01年から2010年まで、
海・陸・空あわせて延べ2万2530人

インド洋とイラクに派兵され
2013年度の自殺者76人 2970人に1人。

2014年度の自殺者は全国で2万5427人、
5000人に1人の割合 自衛隊員は2970人。

戦死傷だけではないのですね 犠牲者は、
それに遺族の悲痛 恋人の苦しみ もありますね、

友人知人の嘆き 寂しさ 戦争の惨禍は無限です。

戦争と言わず「自衛権の発動」「集団的自衛権の行使」、
戦争推進支援と言わず「積極的平和主義」、

アメリカと共同しての戦闘と言わず「国際協調」、
兵站と言わず「後方支援」まるで戦場と無縁みたい。

日米新ガイドライン 軍事指針で Logistic support
「兵站支援」を「後方支援」と日本語訳。

「兵站」は「作戦軍のために、後方にあつて連絡・交
通を確保し、車両・軍需品の前送・補給・修理などに
任ずる機関・任務。ロジスティクス」と『広辞苑』。

ほかに傷病兵の医療、通信情報など、戦闘遂行に不
可欠な活動をいうのだ。

つまり、「非戦闘地域」でないところでの『兵站』は
戦争行為であり 軍事攻撃の目標になるのだ。

「武力の行使と一体でない後方支援」とする首相は
国際常識からも国際法からも成り立たない、詭弁。

レトリックを詐術として駆使して主権者を騙す、
日本国憲法を独善的に解釈して改竄を強行する暴力。

「平和安全法制整備法案」と「国際平和支援法案」。

1. この法案策定までの手続が立憲主義、国民主権、
議会制民主主義に反し、法案の内容が憲法9条その他
に反する。2. 法律の内容が憲法9条その他に反する。

(1) 歯止めのない「存立危機事態」における集団
的自衛権の行使、(2) 地球のどこでも米軍等に対
し「後方支援」で一体的に戦争協力、(3) 「武器等防
護」で平時から米軍等と「同盟軍」的關係を構築。こ
れは3日に発表の「安保関連法案に反対し、その速や
かな廃案を求める憲法研究者の声明」の柱なのです。

2015・6・4 記